

令和5年度事業概要



完成20周年を迎える小里川ダム ライトアップの様子

国土交通省
庄内川河川事務所

目次

庄内川の概要	P1
「流域治水」への転換	P2～P4
令和5年度事業費	P5
令和5年度事業実施方針・実施箇所	P6
特定構造物改築事業・河川改修・河川環境	P7～P10
河川維持	P11
洪水調節施設・ダムの有効活用	P12～P13
防災・地域連携・気候変動に対する事務所の取組	P14～P15
土岐川・庄内川の水害リスクについて	P15～P16

はじめに

庄内川では東海豪雨の教訓を踏まえて、東海豪雨と同規模の洪水による被害を防止することを目標に治水対策を進めてきており、着実に治水安全度は上がっています。

一方で、近年は毎年のように、全国的に大規模な洪水被害が発生しています。この気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組だけでなく、流域に関わる関係者が、主体的に治水に取り組む社会を構築する必要があります。

そのため、庄内川流域では流域のあらゆる関係者で構成する「流域治水協議会」を全国に先駆けて令和2年度に設置しました。そして、「庄内川水系流域治水プロジェクト」を令和3年3月25日にとりまとめ、グリーンインフラの取組みを追加するなど流域治水の取組を深化させております。また、住民の方々の主体的な参画を目指し、令和3年11月20日に「土岐川・庄内川流域治水シンポジウム」の開催、流域治水MOVIEやロゴマークの作成、令和4年度に土岐川・庄内川の流域治水の自由研究を募集するなど流域治水を広く周知してきました。

今年度は、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の予算(令和4年度補正予算)も活用し、この「流域治水プロジェクト」を加速して実行します。

そして、庄内川河川事務所は「流域治水プロジェクト」の推進を通じて、持続可能で強靱なまちづくり、防災教育の推進、生物多様性の保全等の「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に貢献し、「誰一人取り残されない」社会の構築を目指していきます。

庄内川の概要



「流域治水」への転換

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換が必要です。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で総合的かつ多層的に取り組みます。

①氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 **集水域**
 [県・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留

河川区域
 [国・県・市・利水者]
 治水ダム建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

②被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導／住まい方の工夫
 [県・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、自然堤防の保全

③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 **氾濫域**
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、多段階水害リスク情報を発信

避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化



庄内川水系流域治水プロジェクト

- 気候変動による水災害リスクの増大に備えるためには、これまでの河川管理者等の取組に加えて、流域に関わる関係者が、主体的に取り組む社会を構築することが必要です。
- 「流域治水」の考え方に基づき、堤防整備、ダム建設・再生などの対策をより一層加速するとともに、集水域から氾濫域にわたる流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進します。
- 庄内川流域については全国に先駆けて「流域治水協議会」を設立し、令和3年3月25日にプロジェクトをとりまとめました。また、令和5年3月2日に開催した協議会では、流域治水プロジェクトに基づく取組状況について確認しました。

土岐川・庄内川流域治水協議会

構成員：流域市町（18市5町）、岐阜県（県土整備部、都市建設部、林政部）、愛知県（建設局、農林基盤局）、東海農政局、中部森林管理局、岐阜地方気象台、名古屋地方気象台、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

オブザーバー：中部地方整備局 建設部・河川部、気象庁 名古屋地方気象台、日本下水道事業団 事業統括部、中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局、東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務、環境省

◆第11回土岐川・庄内川流域治水協議会（令和5年3月2日開催）



協議会の様子



開会挨拶(代表構成員(春日井市長))

【土岐川・庄内川流域治水協議会の流れ】

- 第1回協議会（令和2年7月6日開催）
 - ・ 庄内川流域治水協議会の設立
 - ・ 庄内川水系流域治水プロジェクト【素案】の提示
- 第2回協議会（令和2年9月14日開催）
 - ・ 庄内川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ】(案)の提示
 - ・ 指定区間を含めた本会議の拡充
- 第3回協議会（令和2年10月13日開催）
 - ・ リーディング地区での対策紹介
 - ・ 庄内川流域で行う流域治水の全体像の共有・検討
 - ・ 全体とりまとめイメージ及び今後の進め方確認
- 第4回協議会（令和2年12月14日開催）
 - ・ 各自治体の課題の抽出・検討状況報告
 - ・ オブザーバーの位置付け明記（新規参画含む）
- 第5回協議会（令和3年3月25日開催）
 - ・ 「庄内川水系流域治水プロジェクト」とりまとめ
- 第6回協議会（令和3年7月2日開催）
 - ・ 防災まちづくりに関する取組報告
 - ・ グリーンインフラの観点の追加確認
 - ・ ロゴマーク作成、シンポジウム開催の決定
- 第7回協議会（令和3年10月21日開催）
 - ・ 新規参画構成員（名古屋・岐阜地方気象台）・オブザーバー（JR東海、環境省）の取組の共有
- シンポジウム（令和3年11月20日開催）
 - ・ 流域治水MOVIE上映、基調講演、パネルディスカッション、ロゴマーク決定
- 第8回協議会（令和4年1月31日開催）
 - ・ ロゴマーク使用規程・使用ガイドラインの策定
- 第9回協議会（令和4年3月3日開催）
 - ・ グリーンインフラの取組を追加、R3実施状況フォローアップ
 - ・ 流域治水プロジェクトに基づく取組の「見える化」
- 第10回協議会（令和4年6月23日開催）
 - ・ 自由研究の募集についての確認 等
- 第11回協議会（令和5年3月2日開催）
 - ・ 土岐川・庄内川流域治水の自由研究の報告
 - ・ R4実施状況フォローアップ



自由研究 受賞作品の展示

- 開会にあたり春日井市長より「行政区域を超えて、関係者が一同に集し、流域治水について考え、取り組むことが大切」と挨拶されました。
- 6市町の首長から、庄内川水系流域治水プロジェクトに基づく、今年度の取組状況について説明されました。
- 今年度実施した流域治水の自由研究については、出席された首長から有意義な取組である旨の発言があり、次年度以降も引き続き実施することを確認しました。また、自由研究に続く新たな取組として、流域治水カード作成等を行っていくことを確認しました。

土岐川・庄内川流域治水のロゴマーク

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、**土岐川・庄内川流域治水のシンボルとなるロゴマークを一般公募(79作品の応募)**し、候補5作品の一般投票を経て、土岐川・庄内川流域治水シンポジウムにて最優秀賞を発表しました。
- **最優秀賞作品は土岐川・庄内川流域治水のロゴマーク**として、缶バッジやシール等を制作し、小学生等を対象とした現場見学会や地方公共団体等において、幅広く活用しています。



みんなでももる土岐川・庄内川

土岐川・庄内川流域治水 ロゴマーク



土岐川・庄内川流域治水シンポジウムにて最優秀賞の発表



小学生等を対象とした現場見学会等で配布 愛知県春日井市における使用事例

土岐川・庄内川流域治水MOVIE

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、土岐川・庄内川の流域で**水災害対策に取り組む関係者を紹介する「土岐川・庄内川流域治水MOVIE」**を作成しました。
- **本MOVIEは庄内川河川事務所YouTubeチャンネルにて公開中**です。



土岐川・庄内川の流域治水の自由研究

- 土岐川・庄内川での流域治水を広く周知・PRするため、令和4年7月～9月に流域治水の自由研究を募集しました。
- 最優秀賞・部門賞を決定し、副賞として令和4年12月26日に一日事務所長体験を実施しました。

自由研究大募集

～身近な流域治水の報告を求む！～

このダムはどんな働きをしているの？
学校のグラウンドはどくらい水がたまるの？
この川の仕事は何のためにやっているの？
この川にはどんな生き物がいるの？
川から家があられたときどうやって逃げるの？

＜応募期限＞
令和4年9月30日（金） 必着

自由研究の募集

受賞作品

笠原川MAP～ガサガサ探検～
多治見市立脳之島小学校 4年 青木 すみれ さん
青木さんの受賞コメント
『もともと川の生き物が好きだったので、自由研究をとおしてもっと好きになりました。受賞できてとてもうれしいです。』

発見！川のひみつ
協栄島小学校 4年1組 近藤 敬牙 さん

表彰式

受賞者の皆さんと記念撮影

「土岐川・庄内川流域治水自由研究受賞者一覧」

★最優秀賞「笠原川MAP～ガサガサ探検～」
・多治見市立脳之島小学校 4年 青木 すみれ さん
青木さんの受賞コメント
『もともと川の生き物が好きだったので、自由研究をとおしてもっと好きになりました。受賞できてとてもうれしいです。』

★部門賞
笠原川の生き物博士で賞「笠原川MAP～ガサガサ探検～」
・多治見市立脳之島小学校 4年 青木 すみれ さん
庄内川のしり賞「庄内川について」
・名古屋市立金城小学校 4年 松尾 泰志 さん
ダムマスターで賞「ダムの研究」
・瑞浪市立明世小学校 4年 近藤 敬牙 さん
八田川・地蔵川博士で賞「発見！川のひみつ」
・名古屋市立味鋺小学校 5年 伊藤 奈桜 さん

一日事務所長体験

庄内川河川事務所
パトロールカーで河川巡視に出発！

みずとびあ庄内
みずとびあに移動し照明車を操作

みずとびあ庄内
続いてドローン操作にも挑戦！

庄内川流域で取り組む 流域治水 × SDGs

庄内川流域における流域治水×SDGsによるマルチステークホルダーパートナーシップの強化

1. 普遍性

全ての流域で流域治水の行動を、

2. 包摂性

洪水に対して「誰一人取り残さない」防災減災を、

3. 参画型

流域のあらゆる関係者が役割を持つ（マルチステークホルダーパートナーシップ）、

4. 統合性

流域アプローチで統合的に経済・社会・環境の課題解決に取り組む、

5. 透明性

流域治水プロジェクトの進捗を流域治水協議会を通じて、定期的にフォローアップ。



SDGsに関するハイレベル政治フォーラム(HLPF)サイドイベント(2020年2年7月7日)に日本国説明資料(国土交通省 関東地方整備局 早川潤氏)を日本語訳したものと

令和5年度 庄内川河川事務所 事業費

単位:百万円

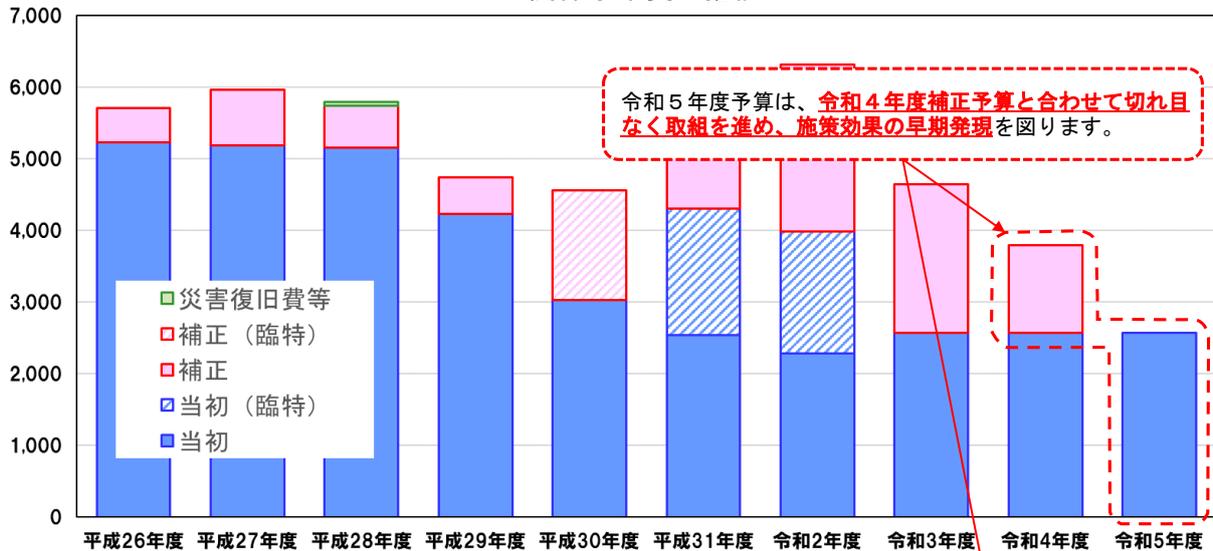
	令和4年度			令和5年度			前年度からの伸率
	令和4年度 当初予算	令和3年度 補正予算	計	令和5年度 当初予算	令和4年度 補正予算	計	当初予算
	①	②	③:①+②	④	⑤	⑥:④+⑤	④/①
河川の改修	1,790	1,127	2,917	1,660	980	2,640	0.93
河川改修費	1,455	1,127	2,582	1,440	980	2,420	
河川都市基盤整備事業費	335	0	335	220	0	220	
河川環境の整備	23	0	23	61	0	61	2.69
総合水系環境整備事業費	23	0	23	61	0	61	
河川の維持管理	755	946	1,701	856	250	1,106	1.13
河川維持修繕費	755	886	1,641	856	250	1,106	
河川工作物関連応急対策事業費	0	0	0	0	0	0	
総合流域防災対策事業費	0	60	60	0	0	0	
小里川ダムの維持管理	349	150	499	349	83	432	1.00
堰堤維持費	349	150	499	349	83	432	
合計	2,917	2,223	5,140	2,926	1,313	4,239	1.00

事業費は、工事諸費(営繕費、業務取扱費等)を除いた金額を記載。

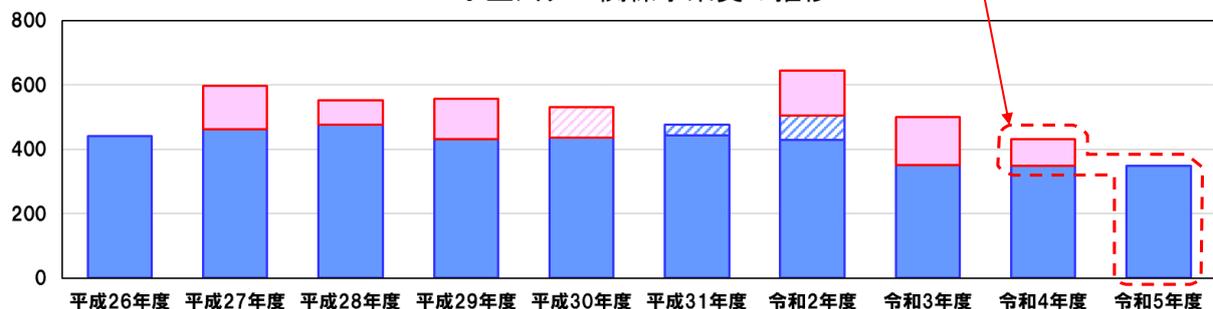
(参考) 事業費の推移

(百万円)

河川関係事業費の推移



小里川ダム関係事業費の推移



令和5年度 事業実施方針

流域治水対策を推進するため、庄内川の河川管理者として引き続き、氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策として、**流下能力の低い箇所を重点的に河道掘削・堤防整備**を実施します。加えて、**河川・河川施設の適切な機能保全のための維持管理**や**土岐川のかわまちづくり事業**を実施します。

＜河川改修＞

- ・下流部では、狭窄部対策、河道掘削(しゅんせつ)、堤防整備等を実施。
- ・中流部、上流部では、堤防断面または堤防高が不足している箇所の堤防整備を実施。

＜維持管理＞

- ・河川が適切な機能を発揮できるよう堤防の法面や護岸等の補修を実施。
- ・洪水や河川管理上支障となる河川内の樹木・土砂が再繁茂・再堆積しないように取り組みを実施。

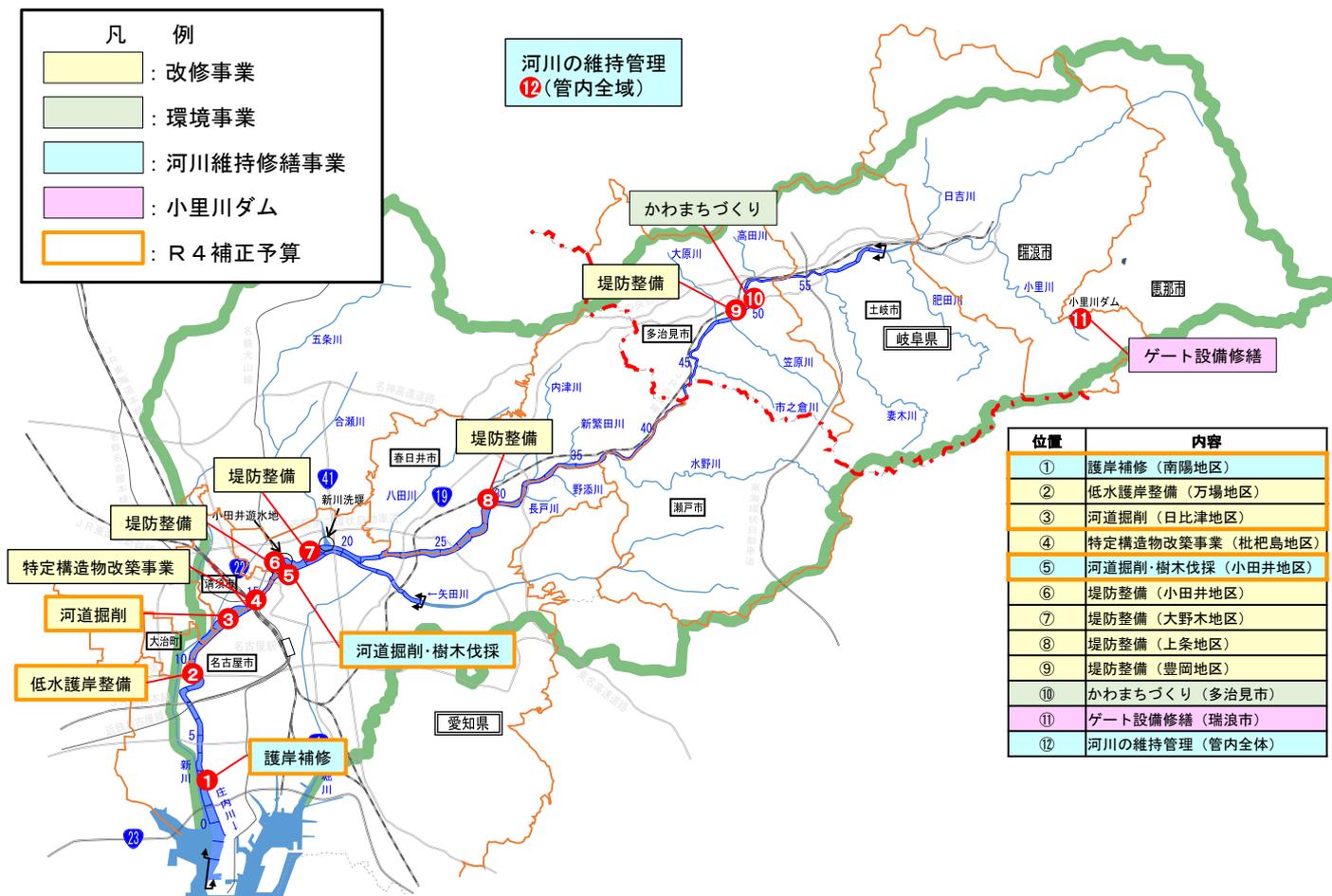
＜河川環境＞

- ・歴史的、自然的、文化的な河川環境を活かした整備を行い、水辺の利用を推進するために、多治見市かわまちづくり事業として多目的空間の基盤整備を実施。

＜小里川ダム＞

- ・洪水時における防災操作を確実に実施。
- ・ダム常用洪水吐1号ゲート設備の修繕工事を実施。

令和5年度 事業実施箇所 位置図 (改修・環境・維持事業)



低水護岸整備（万場地区）

補正

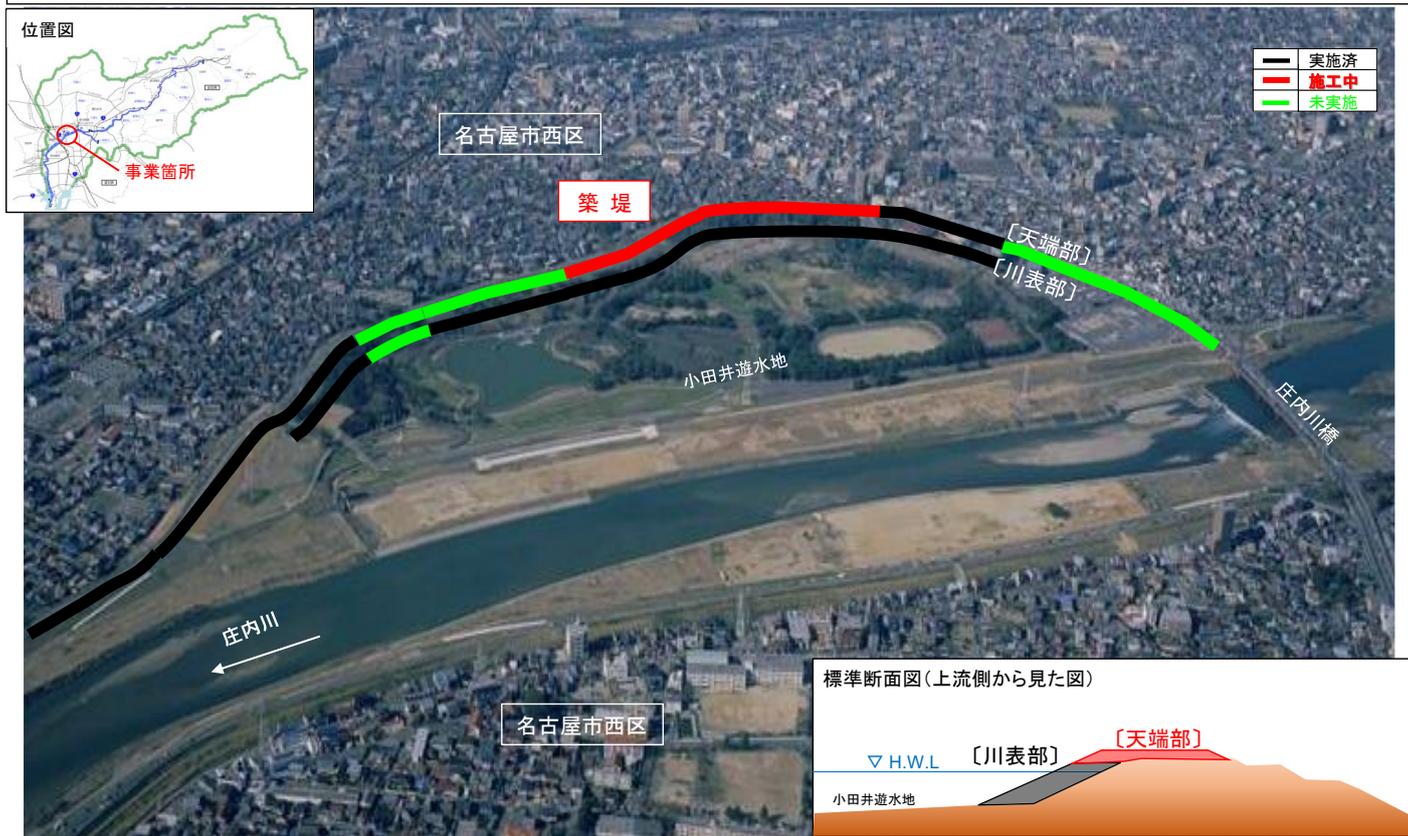
- 万場地区は、高水敷の幅が狭く、洪水で堤防が浸食される危険性があるため、浸食を防止するための対策として、低水護岸を整備します。
- これにより、浸食による堤防の損傷を防ぎ、地域の安全性を高めます。



堤防整備（小田井地区）

補正含む

- 小田井地区は、洪水時に水を貯留する小田井遊水地において、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます。



堤防整備（大野木地区）

- 大野木地区は、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます。



堤防整備（上条地区）

補正含む

- 上条地区は、高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- これにより、洪水時における堤防の強度を向上させ、地域の安全性を高めます。



堤防整備（豊岡地区）

- 豊岡地区は、堤防の高さや断面が不足している箇所の堤防整備を実施します。
- 令和5年度で豊岡地区の堤防整備は完了（予定）となり、洪水時における堤防の強度が向上し、地域の安全性が高まります。



かわまちづくり（河川環境）

- 多治見市では土岐川周辺において散策ルートやオープンスペースの水辺整備を進め、駅や商店街、医療・福祉拠点と川が効果的につながり、人々が憩える交流の場として活用を図っています。
- さらにこの取組を充実させ、土岐川上下流区間の連続性・観光拠点を含めたまち全体の周遊性や、新たな魅力創出を図るため、多治見市や地元関係者と「多治見市かわまちづくり協議会」を設立し、「多治見かわまちづくり計画（上流区間）」を策定しました。
- この計画に基づき、多目的空間や散策路の整備を実施していきます。
- 令和5年度は多目的空間の基盤整備を実施します。



河川の現状把握・維持修繕（河川維持）

- 河川の状況監視や損傷確認、基礎データの収集などのため河川巡視、点検、観測等を実施します。
- 河川管理施設等の機能を確保するため、堤防・護岸・水門等施設の現状を把握し、河川管理上の支障の有無を確認し、適切な処置を講じます。

～河川の流況把握～



～河川施設の現状把握・維持修繕～



異常発覚



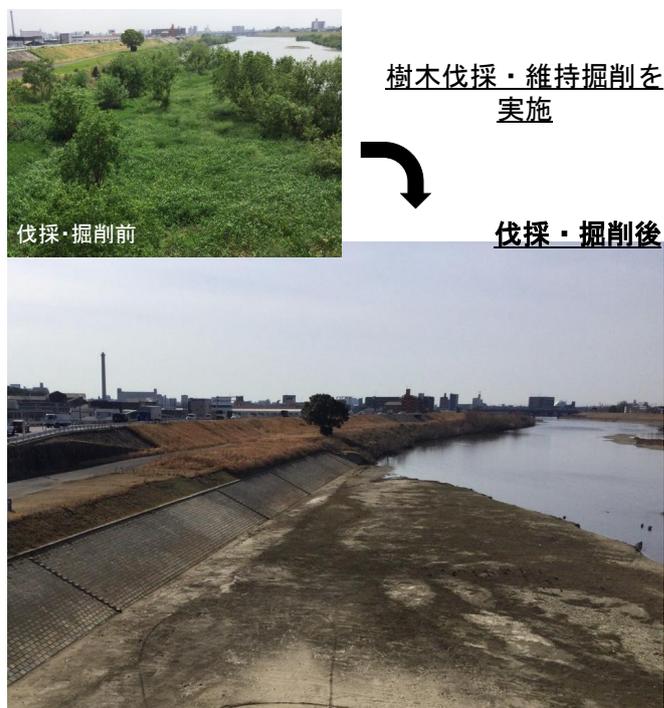
堤防の維持・樹木伐採（河川維持）

- 堤防点検あるいは河川の状態把握のため、堤防の除草を実施します。
- 河道内に樹木繁茂や土砂堆積が発生した場合、河道断面が減少するため洪水の安全な流下等に支障となる箇所においては、樹木伐採や維持掘削を実施します。また、樹木伐採や維持掘削については、環境に配慮しつつ実施します。

～堤防の維持～



～樹木伐採・維持掘削～



ダム管理

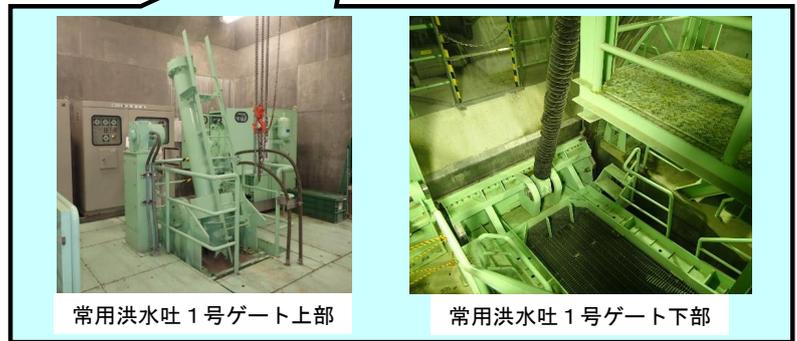
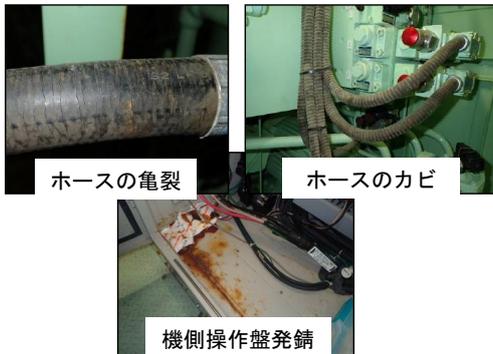
- 令和5年度は、通常のダム管理、並びに、常用洪水吐1号ゲートの修繕工事を実施します。
- 常用洪水吐1号ゲートは、2000年の設置から23年が経過していて、配管等に損耗・劣化が発生し、ダムの洪水調節に必要な不可欠な設備であるため、機能を維持する必要があります。



更新機器



配管等の損傷状況



地域の水害を抑えて20年 -小里川ダム完成20周年-

- 小里川ダムは令和5年度において完成後20年を迎えます。
- 平成16年3月の完成以降、洪水の発生水準に達する出水※が24回発生しましたが、小里川ダムの洪水調節により下流への被害を抑え続けています。 ※ ダムへ流れ込む水量が80m³/s以上の出水
- 令和5年度には地域と連携した記念イベントの開催を予定しています。



- ・ 令和5年度は 各種イベントを開催予定



【完成後20年記念イベント（予定）】

【完成後20年記念イベント（予定）】

小里川ダムは令和6年3月で完成20年 / “ハタチの小里川ダム”スタンプラリー

期日 令和5年8月1日①・11月26日②

“ハタチの小里川ダム”スタンプラリー

20周年記念カードプレゼントコース

“ハタチの小里川ダム”記念グッズ抽選コース

20周年記念カードプレゼントコース

洪水調節施設

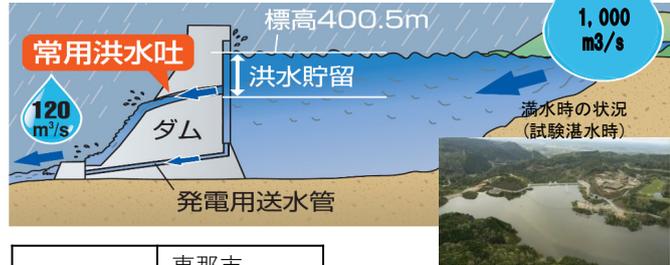
小里川ダム（多目的ダム）

平成16年完成

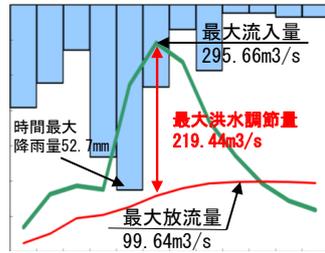
小里川、土岐川、庄内川を洪水から守ります。貯留水を利用して発電や川の環境を守ります。

ダム地点の計画高水流量1,000m³/sの内、**880m³/sを調節（貯留）し、120m³/sの放流**を行い、川の増水を緩和し洪水から守ることができます。

小里川ダムの洪水調節のイメージ図



位置	恵那市、瑞浪市
堤高	114m
集水面積	55km ²
湛水面積	0.55km ²
総貯水容量	15,100千m ³
有効貯水容量	12,900千m ³



小里川ダム 洪水調節例
令和3年8月13日秋雨前線

小田井遊水地

小田井遊水地は、平時は名古屋市市の都市公園として利用していますが、洪水時には庄内川の水を流入させて、庄内川を洪水から守る洪水調節施設です。



平時（都市公園）



洪水時（H12.9東海豪雨）

位置	名古屋市西区山田町
面積	約42ha
容積	約140万m ³
水門	1箇所
越流堤	190m

東海豪雨相当の洪水に対して**最大で毎秒100m³を遊水地に流入**させて、庄内川の水位を下げます。

庄内川におけるダムの有効活用（事前放流・浸水想定）

事前放流

○ 治水協定を締結

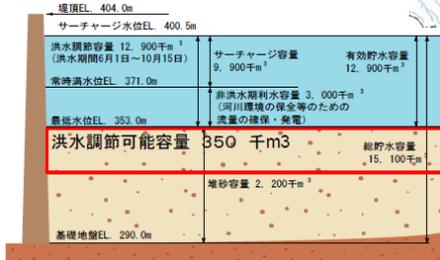
- 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた協議の場として、庄内川水系ダム管理連絡調整協議会を設置（令和2年5月25日）庄内川水系（庄内川・土岐川）治水協定締結（令和2年5月25日）（国土交通省中部地方整備局、岐阜県県土整備部、土岐川防災ダム一部事務組合、中部電力（株））治水協定では、事前放流の実施方針や情報共有のあり方について今後取り組むべき事項を定めています。
- ハード・ソフト対策を一体的かつ計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的として、令和3年4月に小里川ダム放流連絡会を開催し、事前放流に係る情報共有方法を関係機関へ正式に通知。

○ 洪水調節機能強化

- 事前放流は、治水協定に位置づけられた洪水調節可能容量を活用し、この容量の範囲において実施します。
- 具体的には、58.9万m³を新たに確保しました。（小里川ダム：35万m³、神徳農地防災ダム：23.9万m³）

（例）小里川ダムの洪水調節機能強化

予想される豪雨に応じて、事前放流を行い**最大350千m³の洪水調節可能容量**を確保



小里川（ダム下流）の浸水想定図

○ 小里川（ダム下流）浸水想定図 作成の目的

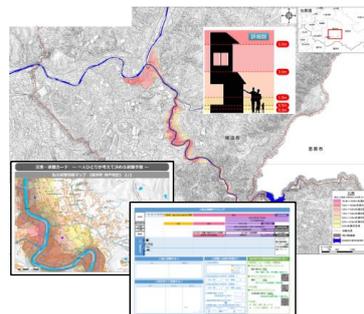
気候変動の影響等による異常豪雨の頻発化が懸念される中、**ダムの洪水調節機能を上回る洪水時に、住民が円滑かつ迅速な避難行動に繋がられるように、「庄内川水系 小里川（ダム下流）浸水想定図」を作成（令和2年5月公表）。**

○ 小里川（ダム下流）浸水想定図は、5種類

- 浸水想定図（想定最大規模）
- 浸水想定図（計画規模）
- 浸水想定図 [浸水継続時間]（想定最大規模）
- 浸水想定図 [家屋倒壊等氾濫想定範囲（氾濫流）]
- 浸水想定図 [家屋倒壊等氾濫想定範囲（河岸侵食）]

○ 小里川（ダム下流）浸水想定図を活用した訓練

- 令和4年7月8日に瑞浪市土岐町の区長、9月14日に瑞浪市稲津町の区長を対象に、小里川ダム下流浸水想定図を活用した災害・避難カード（マイタイムライン）作成訓練を瑞浪市と合同で実施。
- 令和5年度もダム下流地域に向けた同様の訓練実施を予定



災害・避難カード ↑
（マイタイムライン）



令和4年度の訓練状況

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議

- 土岐川・庄内川の「人命被害ゼロ」「社会経済被害の最小化」を目標に「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」に基づく減災に関わる取り組みを推進しております。
- 令和4年度は取組方針に基づき、会議の構成員が一体となって「民間企業の事業継続計画（BCP）の作成支援」など、減災に向けた取り組みを中心に進めてきました。
- 令和5年度も引き続き、構成員が一体となり、「水害に対する防災教育支援」など、地域防災力の向上に向けた取り組みを推進していきます。

土岐川・庄内川の水害から命を守るための会議

目的 土岐川、庄内川が氾濫した場合の水害、または土砂災害や高潮による被害の軽減に資する取組を総合的かつ一体的に推進し、「水防災意識社会」の再構築すること。

構成員 沿川市町（12市3町）、水防組合、岐阜県、愛知県、庄内川河川事務所、気象庁、自衛隊、警察局、中部運輸局、名古屋高速道路公社、民間事業者（鉄道事業者、高速道路管理者、電力会社）



令和2年度 第3回会議の様子

「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」の主な内容（ソフト対策の取組）

①人命被害ゼロに向けた住民の自主的な避難行動を促す取組

- ・ 平常時からの避難行動につながるリスク情報、避難場所や経路に関する情報の周知、住民の防災意識向上のための取組
- ・ 洪水時の河川の水位等に関する避難行動につながるリスク情報の周知
- ・ 避難勧告等の発令が避難行動につながる取組 ・ タイムラインの作成・実践
- ・ 大規模台風による高潮・洪水からの広域避難を実現するための取組

②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動や応急復旧活動に関する取組

- ・ 平常時からの自治体や消防団等関係者による重要水防箇所等の把握、水防訓練の実施
- ・ 水防活動や応急復旧活動の実施体制等の整備

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための事前準備に関する取組

- ・ 氾濫流の排除計画の立案 ・ 多様な主体による被害軽減対策に関する取組



「土岐川・庄内川流域の減災に係る取組方針」はこちら

地域連携

- 令和5年度においても、親しみのもてる庄内川であるよう、引き続き地域社会と一体となった川づくりを推進するため、河川協力団体やアダプト団体の活動支援を行います。
- また、環境教育や防災教育を推進し、災害時の緊急対策等に協力いただく団体（庄内川災害対策協力会）との連携を強化していきます。

環境教育

小学生、園児等を対象に年間約12回実施
参加者約560人を支援



タモ網を使ったガサガサ調査 透視度計を用いた水質調査

河川協力団体

河川管理者のパートナーとして実施する、「河川の維持管理」や「環境保全」に関する活動を支援



志段味ピオトープ（名古屋市の環境保全の除草 毎年春・秋に開催される、藤前干潟クリーン大作戦

地域の建設業団体による取組 【庄内川災害対策協力会】

災害対策協力会は、36の建設会社が沿川に暮らす地域住民の安全・安心のため、**庄内川で災害が発生した場合に緊急対策等に協力する団体**

災害時の活動



R1.10 阿武隈川での排水作業及び照明点灯（宮城県）

平常時の活動



災害対策用機械の操作訓練

環境教育の場「矢田川橋緑地」清掃活動

防災教育

近年の大規模水害や東海豪雨の様子、「流域治水」などの公的な対策について**重要な防災教育を支援**



水害について事前に調べた事を講師に質問する様子

近年の大規模水害や「流域治水」について説明

アダプト活動団体

身近な場所で**自主的に実施される市民活動**（河川美化・清掃、環境教育等）をサポート



河川敷でのゴミ拾い

こども達への環境教育

気候変動に伴う水害の頻発化・激甚化

○ 治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直しの検討が必要となっております。

これまで

洪水、内水氾濫、土砂災害、高潮・高波等を防御する計画は、これまで、過去の降雨、潮位などに基づいて作成してきた。

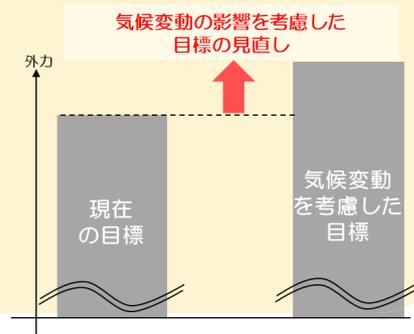
しかし、
気候変動の影響による降雨量の増大、海面水位の上昇などを考慮すると現在の計画の整備完了時点では、実質的な安全度が確保できないおそれ

今後は

気候変動による降雨量の増加※、潮位の上昇などを考慮したものに計画を見直し

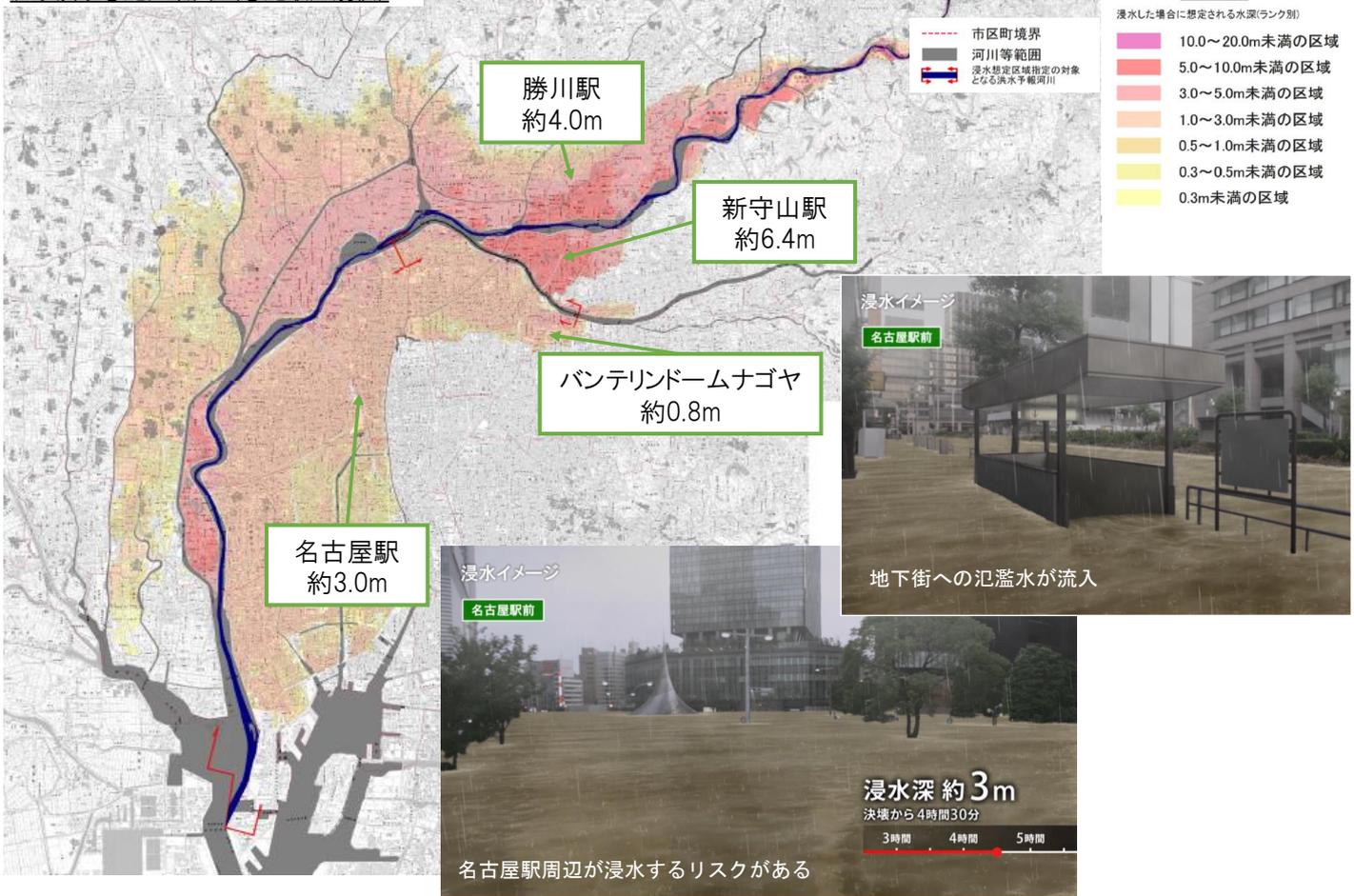
気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇相当	約1.1倍	約1.2倍	約2倍

※ 世界の平均気温の上昇を2度に抑えるシナリオ（パリ協定が目標としているもの）



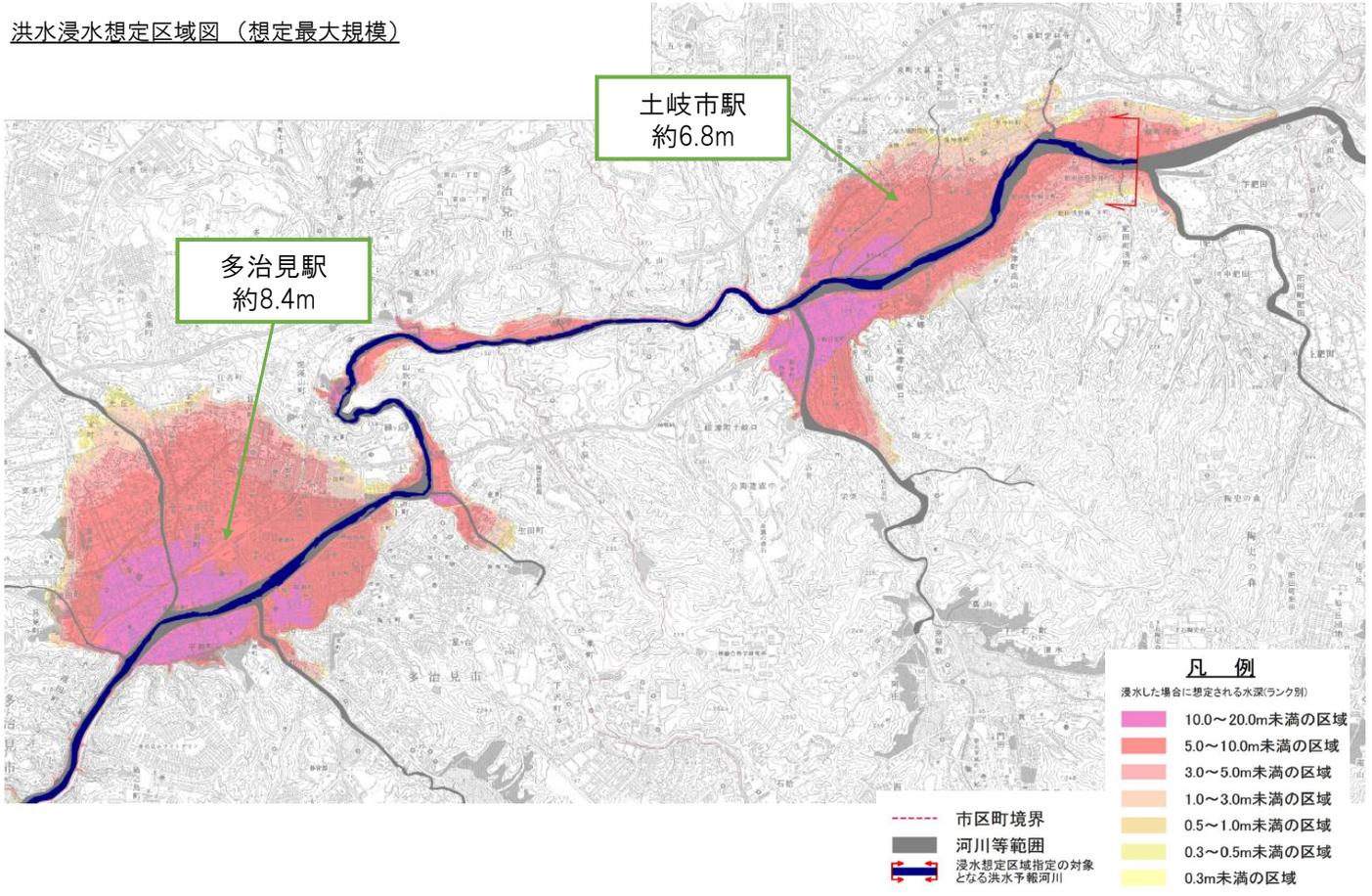
愛知県における水害のリスク

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）



岐阜県における水害のリスク

洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

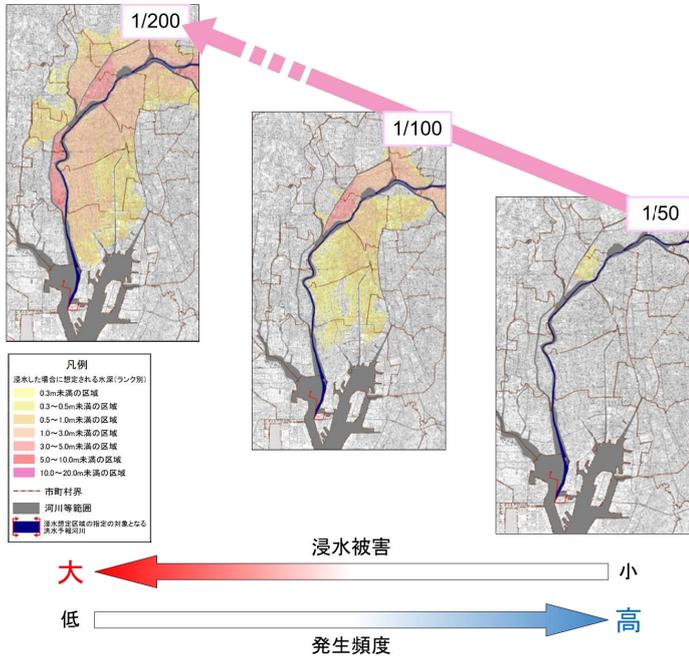


多段階の浸水想定図及び水害リスクマップ

- 土地利用や住まい方の工夫の検討及び水害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討など、流域治水の取組を推進することを目的として、発生頻度が高い降雨規模の場合に想定される浸水範囲や浸水深を明らかにするため、「多段階の浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成・公表しました。
- なお、現在の多段階の浸水想定図及び水害リスクマップは国管理河川の氾濫のみを示しています。

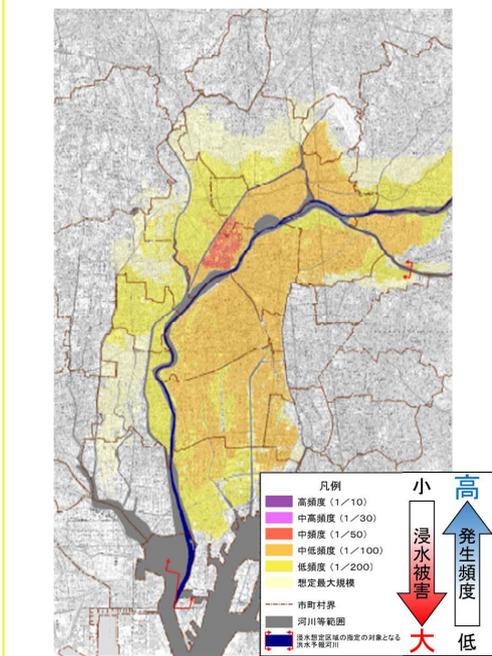
<多段階の浸水想定図>

- 公表済みの想定最大規模に加え、より頻度の高い、複数の年超過確率毎の浸水想定図を作成。
- さらに、治水対策の整備段階ごとに作成。

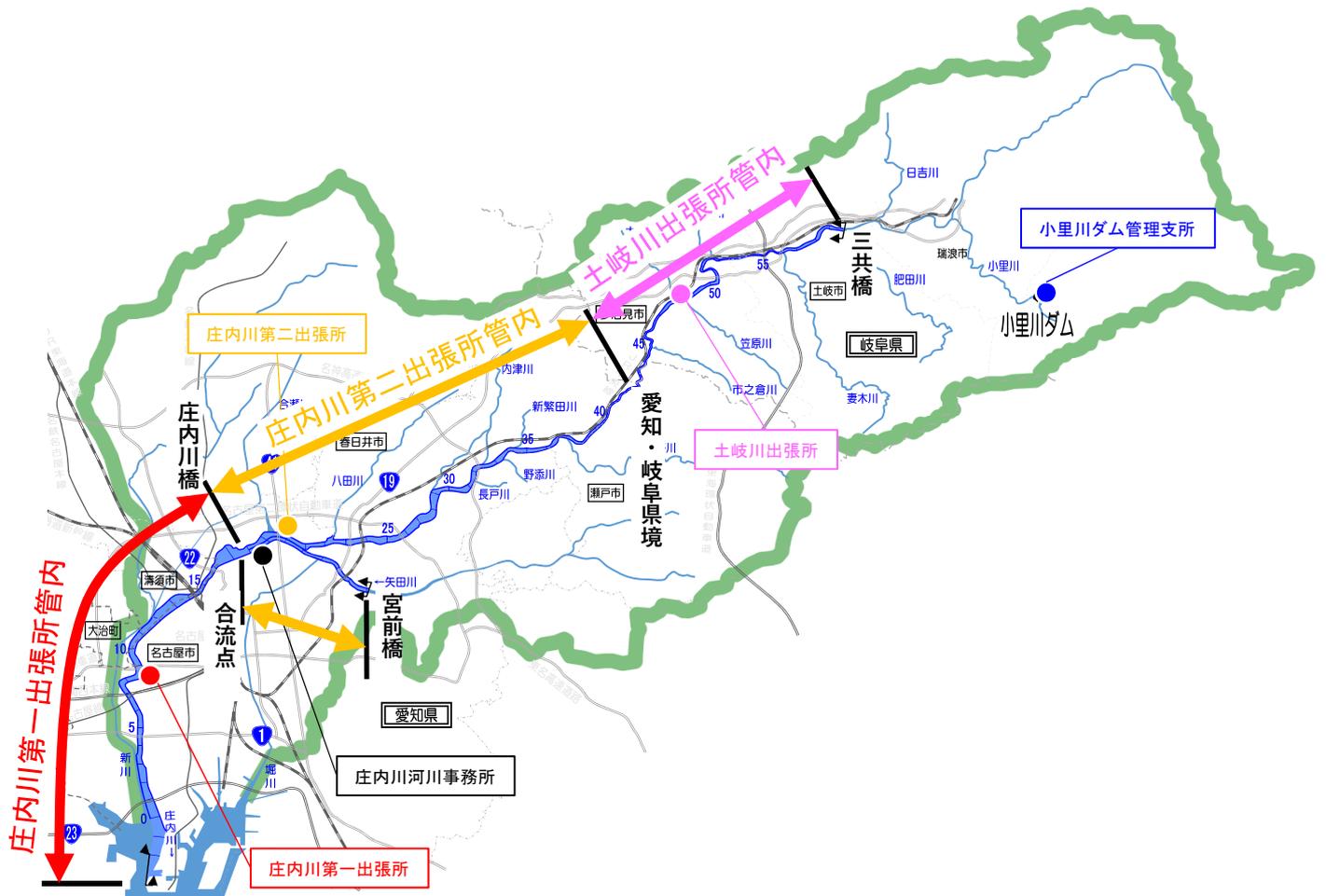


<水害リスクマップ>

- 想定最大規模～頻度の高い複数の年超過確率毎の多段階の浸水想定図を重ね合わせた図面。
- 各年超過確率毎の浸水区域を示した図面。



多段階の浸水想定図及び水害リスクマップのページはこちら▲



◆庄内川河川事務所

〒462-0052 名古屋市北区福德町5-52
 TEL : 052-914-6711 (代表)
 FAX : 052-915-5093
<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/>



みんながまもる土岐川・庄内川

◇庄内川第一出張所 (河口～庄内川橋)
 〒453-0862 名古屋市中村区岩塚町西起168
 TEL : 052-411-2539

◇土岐川出張所
 〒507-0042 岐阜県多治見市前畑町1-39-1
 TEL : 0572-23-8505

◇庄内川第二出張所
 〒462-0016 名古屋市北区西味鏡2-301
 TEL : 052-901-5944

◇小里川ダム管理支所
 〒509-7606 岐阜県恵那市山岡町田代1565-21
 TEL : 0573-59-0056